

第24回日本フラワー&ガーデンショウ in 千葉市幕張メッセ

2014.3.21 (金・祝)

主催：公益社団法人日本家庭園芸普及協会

山下ようこが、毎年、必ず訪れる日本フラワー&ガーデンショウ。

今年は初日が祝日とあって、一層、華やいだ雰囲気。写真でご紹介しましょう。

毎年、会場に足を踏み入れて最初に目に飛び込んでくるのは「ジャパンセレクション～新花コーナー」

山下ようこにとって、育種家の夢を共有することができるように感じる空間、春の喜びです。

今年もすばらしい新品種が勢揃い。特に注目したのはこんな花。



春と言えばサクラ。サクラと言えば、JFC石井農場・石井重久氏(静岡県富士市)。その石井氏の作出作品。



ゴージャスでシックな色彩のランキユラス。ランキユラスと言えば、綾園芸(宮崎県綾町)



こんな素敵なパステルカラーのスイートピー。神奈川県農業技術センターの作出。



24回目の今年、初めてテーマカラーを設定することになり、イエローと決めました。



ここは鉢など、器の開発、販売で著名なリッチェル(本社・富山市)のブース。自慢の鉢に植えられた花々は、もちろんイエローカラー。山下ようこも、生き生き輝くイエローの花々をバックに、シャッターを切っていただきました。



ここは種苗会社を代表するサカタのタネ(本社・神奈川県横浜市)。ヒマワリのイエローが美しい!!サカタのタネと言えば、環境浄化のサンパチェンスがおなじみ。今年は水の中での栽培。水質浄化にも効果があることを実証。



こちらは種苗会社の西の雄、タキイ(本社・京都市)。ガーデンショウならではのディスプレイデザインはさすがです。

ここは千葉県のコーナー。鉢花、そして切り花。



鉢花



切り花



切り花



こちらは千葉市のコーナー。千葉市と農家が共同開発に成功した美しいコリア「紫苑」を写真パネルで紹介。



こちらは野菜の栽培セットをアピールするアタリヤ農園(千葉県香取市)。家庭で手軽に野菜が作れて、新鮮なものが食べられる。これぞ家庭園芸のシンボル!!



野菜と言えば、サカタのタネの販売コーナーも。王様トマト。山下ようこも会場で購入、果肉全体の赤味が均等、おいしくいただきました。



こちらは柴田園芸刃物(本社・東京都文京区)のブース。カラーサンドを使ったハイドロカルチャーの実演コーナーが設けられています。会場を訪れた家族連れなどが多くチャレンジしたそうです。写真左は同社の柴田一郎氏、右は同社の山本光雄氏。



その日の夜には、会場近くのホテルフランスで「みんなで語ろう家庭園芸の会」と題した懇親会が開かれ、山下ようこも出席。全国の花と緑を愛する人が集まり、植物産業の今後や園芸の魅力等について、和やかな雰囲気の中、情報交換がおこなわれました。



会場には、サクラの育種家・石井重久氏の作出品種をメインにしたアレンジメント。



サクラとコラボしてポーズを決めるNHK趣味の園芸第50代編集長・出澤清明氏。



今年の日本フラワー&ガーデンショウの総合プロデューサー、タレントで園芸家の柳生真吾氏と一緒に撮影。